

1. 研究課題名：C-1004 産業環境システムの耐リスク性

2. 研究代表者氏名及び所属：

東海 明宏（大阪大学大学院工学研究科）

3. 研究実施期間：平成 22～24 年度



4. 研究の趣旨・概要

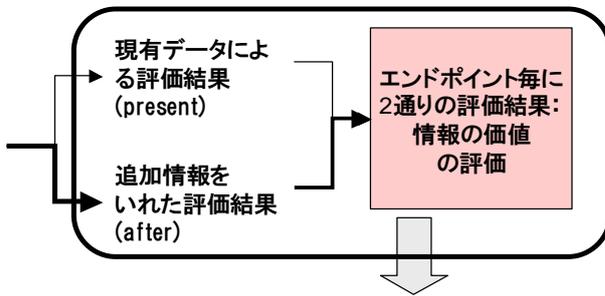
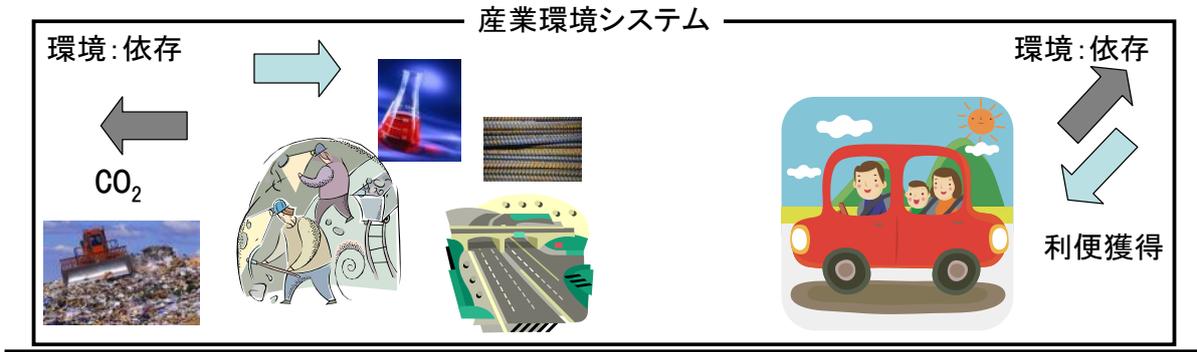
生活の利便性と環境質の維持のために、これらを一体として形成される産業環境システムのリスク管理が求められている。本研究では、産業環境システムがどれほど複数の環境制約、利便性の維持の実現に対して対応可能であるか、ということ耐リスク性という視点で、自動車を取り上げ、リスク評価手法、ライフサイクル評価手法、不確実性評価手法、環境家計簿技法を用いて、資源転換、規制の強化にともなうリスクに対する産業環境システムの適応性を評価し、管理戦略の構築を目指すものである。

これにより、生活者の利便性と環境への依存の裏表の関係が明確化され、リスクからみた生活・産業・環境の環境適合への貢献が期待される。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 耐リスク性の評価手法の構築（大阪大学）
- ② ケーススタディ：製品のリスク評価の実施（大阪大学）
- ③ 社会的合意形成の検討（大阪大学）

6. 研究のイメージ



$$\Delta Risk_i = Risk_i^{after} - Risk_i^{present}$$

	健康(1)	生態(2)	資源消費(3)	低炭素(4)
健康(1)		$\frac{\Delta Risk_2}{\Delta Risk_1}$	$\frac{\Delta Risk_3}{\Delta Risk_1}$	$\frac{\Delta Risk_4}{\Delta Risk_1}$
生態(2)			$\frac{\Delta Risk_3}{\Delta Risk_2}$	$\frac{\Delta Risk_4}{\Delta Risk_2}$
資源消費(3)				$\frac{\Delta Risk_4}{\Delta Risk_3}$
低炭素(4)				